

# 社会資本総合整備計画(第2回変更)

安全で安心して暮らせるまちづくり

平成26年3月28日

神奈川県座間市

# 社会資本総合整備計画（市街地整備＋地域住宅支援）

平成26年3月28日

計画の名称	安全で安心して暮らせるまちづくり			
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度（5年間）	交付対象	座間市	
計画の目標	自然・歴史・文化と調和した暮らし快適、安全で安心の魅力あるまちづくりを目指す。			

平成 23 年 月 日

- ・道路の整備状況の満足度を17%（H23）から19%（H28）に増加
- ・災害に対する安全性の満足度を13%（H23）から18%（H28）に増加
- ・耐震性貯水槽の確保量を5（ℓ/人）から8（ℓ/人）に増加
- ・1号市街地の建物不燃化率を80%（H23）から82%（H28）に増加

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値	最終目標値 (H28末)	
市民アンケートにより、道路の整備状況に関する満足度を集計	17%		19%	
市民アンケートにより、災害に対する安全性の満足度を集計	13%		18%	
耐震性貯水槽（60㎡）設置数から人口一人当たりの貯水量を集計	5ℓ/人		8ℓ/人	
都市計画基礎調査から建物不燃化率を集計	80%		82%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	2,759.8百万円	A	2,759.8百万円 (うち提案事業分233百万円)	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 (A (提案分) + C) / (A + B + C)	8.4%
-------	---------------	------------	---	-------------------------------	---	-------	---	-------	---	------

## 交付対象事業

### A1 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-A-1	都市再生	一般	座間市	直接	座間市	座間地区都市再生整備計画事業	道路、耐震性貯水槽等 A=1,758ha	座間市						949.0	別添1
1-A-2	住宅	一般	座間市	間接	組合	小田急相模原駅西地区市街地再開発事業	商業、住宅等 A=0.4ha	座間市						1,810.8	補助対象事業
														-	
														-	
														-	
合計													2,759.80		

### B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
														0	
合計													0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

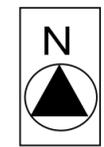
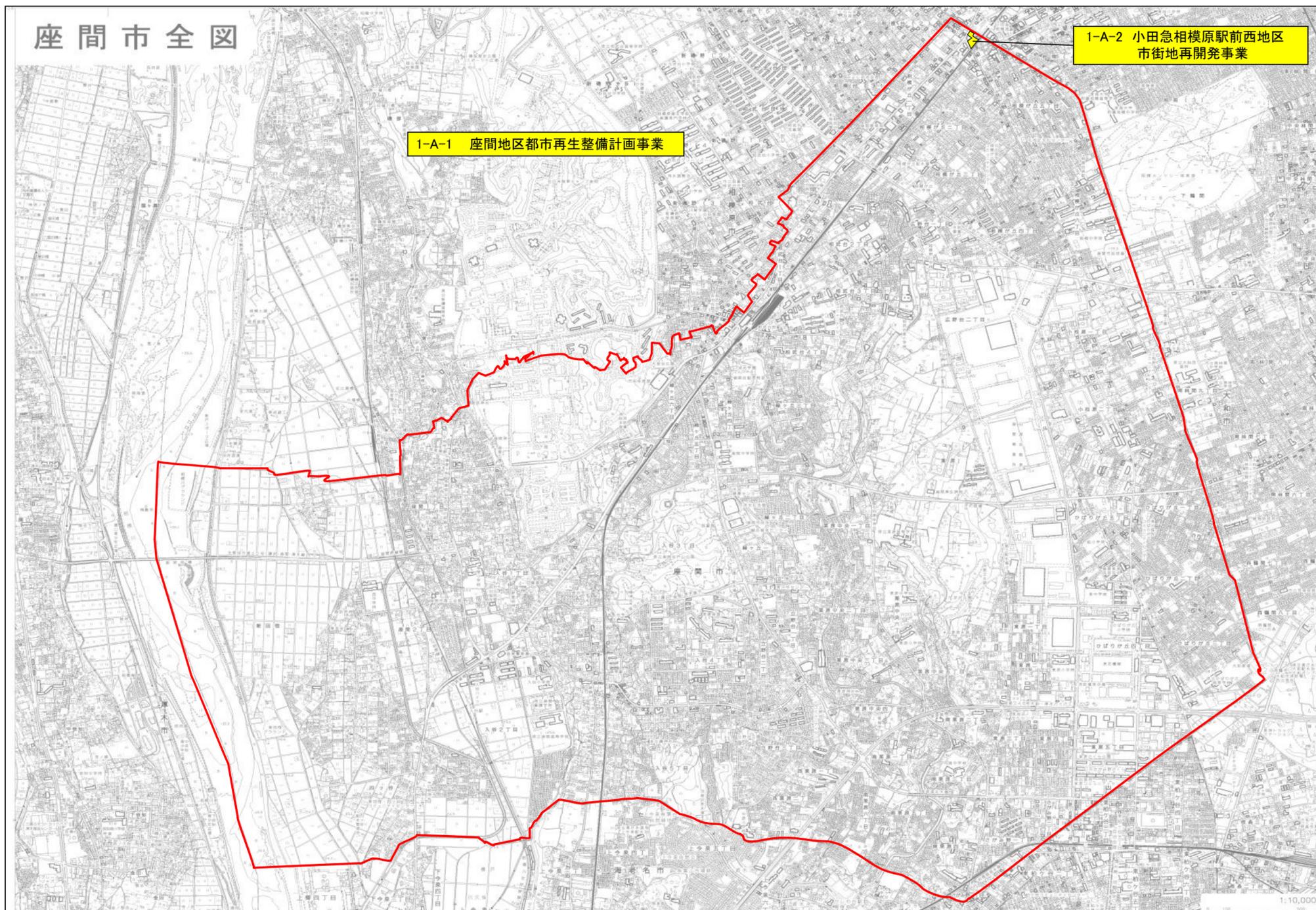
### C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
														0	
合計													0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

(参考図面) 市街地整備＋地域住宅支援

計画の名称	安全で安心して暮らせるまちづくり	交付対象	座間市
計画の期間	平成24年度～平成28年度(5年間)		



凡例	
	基幹事業



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 安全で安心して暮らせるまちづくり

事業主体名: 座間市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○